東北大学技術紹介

尿毒症物質を低減する腸内細菌

p-クレシル硫酸を低減する腸内細菌

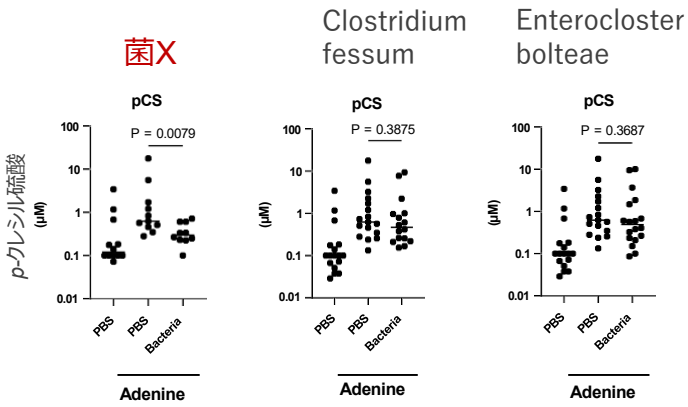
概要

糖尿病性腎症増悪の原因となる、複数の尿毒症物質は腸内細菌によって産生されることは、これまでの研究で 明らかになっている。一方で、尿毒症物質の産生に関与する腸内細菌種の同定は、腎機能などの交絡因子があり困難であった。発明者らは、腎機能の交絡因子を除いて解析することで尿毒症物質の低減に関与する腸内細菌を特定した。
本発明は、それらの菌を含む尿毒素の産生抑制剤・機能性食品に関するものである。
本件の発明者の一人である阿部教授らにより、尿毒症物質を低減する機能性成分としてセサモールも提案されている。
（ゴマリグナンを含む尿毒物質低減剤(t-technoarch.co.jp)）
本発明の菌の単剤ではなく、上記の機能性成分と組み合わせるなどした、相乗効果を狙った製品化等が期待される。

応用例

- 慢性腎臓病の予防又は治療剤
- 腎臓ケアを目的とした健康食品、特定保健用食品

3種の菌を腎不全マウスに経口投与した結果



菌Xを投与したマウスで血中のp-CSが低下した。

※特許未公開の為、詳細については個別にお問い合わせください。

関連文献

[1] xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

知的財産データ

知財関連番号　：　特願2024-055022
発明者　：　阿部 高明、豊原 敬文、渡邉 駿、鯨井 涼太
整理番号　：　T22-046

お問い合わせ

株式会社東北テクノアーチ
TEL 022－222－3049　お問い合わせフォームはこちら